

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

| | | | | | | | | | |
|---------|--|-----------|-------------------|---|-------|---|----------------|--------------|-------|
| 事務事業名 | | 行旅病人等対策事業 | | | | <input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 4 | みんな元気で笑顔あふれるまちづくり | | | 所属部 | 健康福祉部 | 課長名 | 古武城 卓 |
| | 施策 | 17 | 生活困窮世帯の自立支援 | | | 所属課 | 福祉課 | 担当者名 | 斉藤和広 |
| | 基本事業 | 55 | 生活の支援 | | | 所属班 | 社会福祉班 | (内線) | 2138 |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業連番 | 法令根拠 | 行旅病人及び行旅死亡人取扱法 | | |
| | 1 | 3 | 1 | 1 | 10547 | | 成果優先度評価結果 | | |
| 終了、開始年度 | <input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始 | | 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) | | <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) | | コスト削減優先度評価結果 | |

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

| | |
|--|--|
| 【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む) | <p>行旅病人が発見された場合、救護は発見地の市町村が行い扶養義務者等を調査し、市が一時的に立替る。その費用は扶養義務者の負担となる。しかし救護費用を弁償を受けられなかった場合は、県と通知し、費用の請求を行う。</p> <p>行旅死亡人が発見された場合は、所在地の市町村が身元に必要な容姿・特徴・遺留物件等を記録した上で死体を埋葬・火葬とする。他市町村へ照会及び通知</p> <p>行旅病人及び行旅死亡人取扱法(明治32年法律第93号)施行及び熊本県行旅病人、行旅死亡人等の救護及び取扱に関する要領施行により開始</p> <p>行旅病人及び行旅死亡人取扱法の改正が昭和62年より施行され、機関委任事務から団体委任事務に移行された。</p> <p>墓地埋葬法との関連</p> |
| 【業務の流れ】 | ①発見②救護③本人及び扶養義務者調査④県及び関係機関への通知⑤県へ救護費用請求(10/10) |
| 【主な予算費目】 | 扶助費 |
| 【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? | <p>迅速な対応を望まれている。</p> <p>同一人物が各市町村で、行旅病人として保護されるケースがあるため、県からの情報の提供が望まれる。</p> |

1 現状把握の部(DO, PLAN)

| | |
|--|------------------------------|
| (1) 事務事業の目的と指標 | |
| ① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) | 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) |
| <p>事象発生時に行旅病人及び行旅死亡人取扱法第5条の規定に基づき、県負担金の請求を行い、交付を受ける。</p> | 平成21年度同様 |
| ④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 | (単位) |
| → ア 発見・救護・県への通知・費用請求 | H イ |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 | (単位) |
| 行旅病人及び死亡人 | → ア 行旅病人件数 件 イ 行旅死亡人件数 人 |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) | (単位) |
| 対象者が安心・安全に救護されるようにする。 | → ア 発見してから救護等までの時間 H イ |
| *⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 | |
| 平成19年度1件、21年度1件の実績により設定。平日の昼間の対応は時間内で可能だが、夜間、休日の対応が課題。 | |

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|----------|------------|------------|--------------|------------|--------------|--------|--------|---|
| (2) 各指標・総事業費の推移 | | 単位 | 19年度実績(決算) | 20年度実績(決算) | 21年度目標(当初予算) | 21年度実績(決算) | 22年度目標(当初予算) | 23年度予定 | 24年度見込 | |
| ④ 活動指標 | ア H | | | 0 | 20 | 30 | 20 | 20 | | |
| | イ | | | | | | | | | |
| ⑤ 対象指標 | ア 件 | | | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| | イ 人 | | | | | | | | | |
| ⑥ 成果指標 | ア H | | | 0 | 5 | 3 | 5 | 5 | | |
| | イ | | | | | | | | | |
| 投資入量 | 事業内訳 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | | 0 | 180 | 36 | 180 | 180 | |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | | | |
| | | その他 | 千円 | | | | | | | |
| | | 繰入金 | 千円 | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 千円 | | | | | | | |
| | (A) 事業費計 | 千円 | | 0 | 0 | 180 | 36 | 180 | 180 | 0 |
| | (A)のうち指定経費 | 千円 | | | | | | | | |
| | (A)のうち時間外、特勤 | 千円 | | | | | | | | |
| | 人件費 | 正規職員従事人数 | 人 | | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 | |
| 延べ業務時間 | | 時間 | | 5 | 20 | 30 | 20 | 20 | | |
| (B)人件費計 | | 千円 | | 0 | 20 | 80 | 119 | 80 | 80 | |
| トータルコスト(A)+(B) | 千円 | | 0 | 20 | 260 | 155 | 260 | 260 | 0 | |

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

| | | | | | |
|-------|-----------|-----|-------|-----|-----|
| 事務事業名 | 行旅病人等対策事業 | 所属部 | 健康福祉部 | 所属課 | 福祉課 |
|-------|-----------|-----|-------|-----|-----|

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

| | | | | |
|---------|---|--|---|---|
| 目標達成度評価 | ①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？ | <input checked="" type="checkbox"/> 達成した | <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷ | 21年度は休日に行旅病人が発生したが、消防署→病院→西合志庁舎警備→担当職員と連絡がスムーズになされ、早い時間に確認が出来た。しかし病人自身が病院を任意退院していたため、その後の県への委託費の請求に手間取った。 |
| | ②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？ | <input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ | 事業の性格上、達成の判断は困難。 |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？ | <input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ | すでに医療機関、県等との連携をとっているので向上の余地はない。 |
| | ④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ | <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ | 他に類似する事業が無い |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ | 突発的な事項であるので削減の余地はない。また市の負担がない。 |
| | ⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ | 突発的な事項であるので削減の余地はない。 |
| 公平性評価 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ | 市民の安心・安全のためであるので、公平・公正である。 |
| 役割分担評価 | ⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ | 発生すると県よりの補助金がでる。 |

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度は1件の行旅病人の対応があった。県との連携が上手くいかず調査事項を一度で済ませることが出来なかった。休日の発生であったが、消防署→西合志庁舎警備員→社会福祉課班長→福祉課長と連絡が出来た。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

| | | | | |
|----|----|-----|----|----|
| | | コスト | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | | | |
| | 維持 | | ○ | |
| | 低下 | | | |

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

休日等の対応をどうしていくのかを他課と協議しておく必要がある。
県との情報交換が必要。
全職員に対しての周知。